HIROSHIMA APPEALS 2016

上條喬久 Takahisa Kamijyo

「祈りの風景」

2016年5月、現職の米大統領として初めて、オバマ大統領の広島訪問が実現し、スピーチで「核兵器廃絶」の願いが明快に述べられた。それは戦後71年で初めての快挙と言える出来事であった。

その同じ時期、私はHIROSHIMA APPEALSの平和ポスターの制作を始め、原爆の悲惨さをいかにシンボリックに表現するかに腐心していた。

しかし、オバマ大統領訪問の陰にあった広島の人々の努力と平和への想いを知って、それまでの考え方を大きく転換することになった。告発し、謝罪を喚起するという対立軸ではなく、赦し、和解し、共に祈るという、深く静かな強い平和への希望を軸とする表現である。

私は常々、グラフィック・デザインの作品は街や生活の中で、風景になって欲しいと願っている。つまり、自分の内なる想いが受け入れられ、風景となって存在することが理想と考えている。

HIROSHIMAAPPEALS2016も平和を強く希求し祈る気持ちをカタチにした。祈りがカタチになった。もしも、そこに共感が生まれるならば、きっと大きなメッセージとなり、祈りの風景になることを願っている。